

1学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

1学年 第15号

2015.8.10 (月) 発行

残暑お見舞い申し上げます

学年主任 横山 伸一

先ほど新潟遠征から帰ってきました(今日は8月6日)。新潟のホッケー場は新潟市西蒲区、旧巻町にあり、近くには岩室温泉や間瀬サーキットなどがあります。1年に何度も遠征するのですが、その道程に気になる看板が2つあります。1つは「米百俵の三根山藩」です。米百俵は「米百俵の精神」という言葉になり、当時内閣総理大臣だった小泉純一郎が小泉内閣発足直後の国会の所信表明演説で引用されて有名になり、2001年の流行語にもなりました。詳しく調べてみると(こういうときのネットです。アナタはいつも何をしていますか?)

河井継之助が率いた北越戦争(戊辰戦争の一つ)で敗れた長岡藩は、7万4000石から2万4000石に減知され、実収にして6割を失って財政が窮乏し、藩士たちはその日の食にも苦慮する状態であった。このため窮状を見かねた長岡藩の支藩三根山藩から百俵の米が贈られることとなった。藩士たちは、これで生活が少しでも楽になると喜んだが、藩の大参事小林虎三郎は、贈られた米を藩士に分け与えず、売却の上で学校設立の費用とすることを決定する。藩士たちはこの通達に驚き反発して虎三郎のもとへと押しかけ抗議するが、虎三郎は、「百俵の米も、食べばたちまなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と諭し自らの政策を押しきった。売却金で開校したのが「国漢学校」であり、洋学・医学局が設置され、士族のみならず一定の学力に達した庶民の入学も許可された。(Wikipedia)

つまり米百俵を贈った三根山藩がここの地域だったようです。以前、廃校になった小学校に宿泊したとき(元々音楽室だった部屋が食堂でベートーベンの肖像画が怖い)昇降口に米俵が積み重ねてあったことを思い出します。また、近くの街道(今回ホッケー部の負けチームが走った道です)は、昔「参勤交代」で各大名が通った道だそうです。そんなことを聞き知ると、歴史って面白いです。私は高校のとき、日本史が嫌で嫌で仕方無かった(日本史の先生スイマセン)のだけれど、今は少し勉強してみようかなと思います。また、今回の遠征で保護者の方々から多くの遠征費をお預かりしていますが、これもまた「米百俵の親心」なのだと思うと身が引き締まる思いとなります。各部とも、合宿や遠征で保護者やOBから援助頂いていることを肝に銘じ、暑い暑いと言っていないで「米百俵に応える部活動!」をしないといけませんね。

もう1つは「〇〇君の早期帰国を求める」と書かれた看板です。日本政府が認定した拉致被害者17名には新潟県出身の方々がおられます。拉致問題は、我々山形県民には身近でないこともあり、つい他人事のように感じてしまっていないでしょうか(私はそうでした)。意識してTVや新聞を読むと毎日のように報道されていることがわかります。今、日本や世界が抱える問題は山積みです。それに対して、今は大きな力にはなれないとしても「知り・考え・意見を持つ」という姿勢は大切にしたいものです。日々の慌ただしい生活では、そんな余裕も持てないのも事実です。この夏休みは、様々な諸問題を1つでもいいので、深く知り考えて自分なりの結論に至ってみてはどうでしょうか。読書感想文は、その練習の一つだと思います。

今回は割にしんみりした学年通信ですが、この時期と無関係ではありません。日中はそれこそ「運動危険!」の灼熱であります。夕方は少しひんやりとした風が吹くようになりました。また、今日は広島「原爆の日」です。70年前の1945年8月6日8時15分、広島に原爆が投下されました。8月9日長崎、8月15日の終戦の日は記憶に刻みこむべき歴史です。そんなこともあり、私は毎年この時期は「少しだけしんみりとした気持ち」になるのです。同様に6月23日、9月11日、3月11日も「いのちを考える日」として私達が忘れてはいけない日です。過去の戦争を含めた歴史に対して、自分の中でも十分に整理されていないのですが、自分自身がほんの少しでも世界平和に貢献しようとする気持ち、は常に持っていたいと思っています。

高校時代は我武者羅に学ぶことも大切です。米興にはその環境が十分に備わっています。また、米興には「興譲の精神」という学ぶ者の精神的な柱もあります。そういった意味では、興譲館は世界に冠たる学び舎となる資質を持ちえています。ここで、本校の元校長である蒲生直樹先生がお書きになられた「世のためにあれ」と題したメッセージを紹介します。

興譲の精神である「世のため人のために生きよ。人のために生きることが最もよく自分を活かすことでもあるのだ」と、誰はばかりことなく言える学校に勤務できたことを、今でも心から嬉しく思う。(中略)十年、二十年後の近未来の世界の有り様さえ読めない時代に、若い人たちが性急に答えを求め過ぎることを、私は惧れます。高校に学ぶ生徒の中には、成果主義の世の風潮にとらわれず、例えば人類の未来のために、世界を救うためにといった大きな目標を遥かに仰ぎながら学問に志す生徒がいてもいい。そうして、自らを高め、自らを確立することが、他者と力を合わせることであり、結局は世のためにあることにつながるのだと、そのように知っても欲しいと思う。(山形教育 No. 374)

卒業して30年以上たった今、少しだけ理解できるようになったかもしれない。浅黒い日焼けは少しだけ蒲生先生に近づいた(?)と思うが、蒲生先生は今でも私の先生です。いつか、この精神を十分に理解し「自分の言葉」で皆さんに伝えたいものです。私の夏休み課題だな?

合唱コンクールの自由曲・指揮者・伴奏者が決まりました！

No.	クラス	曲名	指揮者	伴奏者
1	1年1組	言葉にすれば 作詞 安岡 優 作曲 安岡 優・松下 耕	後藤 萌音	上杉 有里奈
2	1年2組	「糸」 作詞 中島 みゆき 作曲 中島 みゆき	和田 早織	渡邊 千紗
3	1年3組	証 作詞 山村 隆太 作曲 阪井 一生 編曲 加藤 昌則	井上 維文	太田 優里
4	1年4組	あなたへ 作詞 筒井 雅子 作曲 筒井 雅子	大橋 和真	高橋 歩美
5	1年5組	明日へ続く道 作詞 星野 富弘 作曲 千原 英喜	村田 陽香	松木 詩歩
6	2年1組	創聖のアクエリオン 作詞 岩里 祐穂 作曲 管野 よう子	熱海 渉	渡部 倫奨朗
7	2年2組	信じる 作詞 谷川俊太郎 作曲 松下 耕	安倍 芳時	高橋悠愛佳
8	2年3組	聞こえる 作詞 岩間 芳樹 作曲 新実 徳英	佐藤 航大	鈴木 彩花
9	2年4組	奏 作詞 大橋 卓弥・常田真太郎 作曲 田中 達也	鈴木 毬愛	荒井 七海
10	2年5組	民衆の歌 作詞 アラン・ブーブリル 日本語詞 岩谷時子 作曲 ミシェル・シューンベルク アレンジ 赤木結衣	原 三都	鈴木 麻衣

11	3年1組	水のいのち一雨、水たまり一 作詞 高野 喜久雄 作曲 高田 三郎	小林 哲也	高橋 優志 宍戸 文香
12	3年2組	言葉にすれば 作詞 安岡 優 作曲 安岡 優・松下 耕	寒河江太一	小池 真鈴
13	3年3組	Story 作詞 AI 作曲 2SOUL	鷺尾 優佑	神保 拓未
14	3年4組	夢みたものは・わが抒情詩 作詞 立原 道造・草野 心平 作曲 木下 牧子・千原 英喜	高村 真希	
15	3年5組	混声合唱とピアノのための 「良寛相聞」より「手まり」 作詞 良寛・貞心尼 作曲 千原 英喜	後藤 勇哉	相澤 玉樹

<審査員の先生方>

大類雅子 先生 鍛冶 迪雄 先生 佐々木捷人 先生 です。

<演奏順>

2年、1年、3年の順です。詳しく時間は米興HP「学校祭」をご覧ください。

<保護者の方へ>

合唱コンクールは7月29日（金）9：00からです。

一生懸命練習しています。ぜひ、お聴きになって下さい。

